

2016年4月

Chiba
University
Formula
Project

2016



Regular Report

06

活動レポート

ここではチームの活動について紹介していきます。

1. シェイクダウン報告 機械工学科 4年 小川 和也

2016年度は、3/3 シェイクダウン・春休み中のサーキットでの全開走行を目標に進めて参りましたが、2/23 にエンジン点火に成功したものの、フレームが完成した後の製作ペースが落ちてしまったこともあり、延期となってしまいました。春休み中のサーキット走行は死守すべく製作して参りましたが、それもかなわずシェイクダウンが遅れてしまいました。4/13 にシャシー系パーツを全て組み付け接地成功しました。その後残っていたパーツを組み付け、最終確認と簡単に路上を転がして動作確認したあと、4/16 にシェイクダウンに成功しました。今後は走行を重ね、不具合の修正を施し大会に向けてアップデートしていきたいと思います。また、活動中改善すべき点も多く見つかったので、それらをしっかりと見直し今後の活動に活かしていきたいと思います。

接地



シェイクダウン



2. 新歓

機械工学科 3年 石塚 祐也

昨年と同様に、機械工学科の新入生ガイダンスでもプロジェクト紹介を実施しました。また、今年度の新歓も、平日すべての曜日でもう少し詳しい説明会を実施し、CUFPはどのような活動をしているか、どのようなメリットがあるかなどを説明しました。参加者としては22人の新入生が説明会に足を運んでくれました。また、作業体験会も二回実施して、一回目は7人、二回目は10人の新入生が参加し、すり合わせや溶接などの体験をしてもらいました。おそらく初めての金属加工で不安な顔を序盤はしていましたが、だんだん慣れるにつれ真剣な表情で作業をしていました。

結果として、10人もの新入生が入部してくれました。多くの仲間が増えてとてもうれしく、この中から多くの主力となりうる人が出ればいいと思います。そのために今後、シャシー、パワトレ、サスペンション、3D・2DCADなどの講習会などを開催し、一日でも早くチームの最前線で活躍できる一年生を育成したいと思います。



走行会 (茂原)

3. 総括

機械工学科 2年 伊藤 貴弘

接地したのちすぐに茂原ツインサーキットにシェイクダウンを兼ねた試走会に行ってきました。今回の目的は現時点での問題点を洗い出すことでした。

午前の走行では、ラジエーターを含む水の流路に空気が残っていたため、十分にエンジンを冷却することができず、オーバーヒート気味になってしまいました。そのため、連続で多くの周回数を重ねることができませんでした。

午後の走行ではラジエーター内の空気抜きをして走行をしたところ、水温は下がりましたが、大会でエンデュランスを完走するには冷却能力が足りないことが明らかになりました。

他には設計コンセプト通り加減速と回頭性において高い性能があることがわかりました。これからセッティングを詰めていくことでさらなるドライバビリティの向上を目指していきたいです。



4. ドライバーコメント

機械工学科 2年 塩沢 智也

今回は CF16 での初めての試走会となりました。ラジエーターのトラブルなどにより周回数を重ねることは出来ませんでした。3人のドライバーで1人10周前後走行することが出来ました。マシンについて、今年度のマシンはリアヘビーになっているので後輪がしっかり地面をつかんでいるためか加速がよく感じられました。また、幅広タイヤを使用しているため安定感があり、コーナー脱出後の立ち上がりも落ち着いていて、激しいハンドル操作をしてもスピンしにくい、粘り強い走りをするマシンだと思いました。このマシンで去年以上のタイムを出し、動的審査の高得点を取りたいと思います。

走行会 (走行技術トレーニング@エコパ)

5. 総括

機械工学科 3年 菅谷 涼太

4/29(金), CF16 が初めてエコパを走りました。走行している様子を見ると、少しリアが重そうな印象を受けましたが、加速の調子がよくアクセラレーションで良い結果を残せるのではないかと感じました。パワートレイン班の私としては、エンジンが調子よく回っているようで安心しました。午前中の走行を問題なく終えようとした際に、コースが濡れているということでマシンの様子を確認したところ、エンジンからオイルが漏れてしまっていました。漏れてしまっている場所の付近のトルクをかけ直し、もう一度コースを走って確認したところ、まだ漏れてしまっていたため午後の走行を断念しました。トルクをかけ直してもまだ漏れが生じてしまっていたため、漏れの原因がガスケットにあると考え、今後は、ガスケットを交換して確認してみようと思います。また、デフが曲がってしまっている問題もあり、一度マシンを治具につけて解決していこうと思います。最後に、漏れを確認する際に足りなくなってしまった現象液、パーツクリーナーを貸してくださった静岡理科大学様、本当にありがとうございました。



6. ドライバーコメント

機械工学科 3年 日下 直哉

今年度初のエコパで開催された試走会に参加しました。大会のコースで 10inch ホイールを採用した今年度マシンを走らせたところ、リア寄りの重量配分・幅広タイヤを採用したこともあり、トラクション性能の高いマシンであることを確認することができました。また、減速しながらのコーナーなどフロントに荷重の乗った場面では、素早くマシンの向きが変わりました。しかし、コーナーが連続しフロントに荷重をのせることが難しい場面では、アンダーステアが目立ちました。また、機械式シフトの操作性などさまざまな弱点も確認することができました。今回の試走会では、マシントラブルにより思うような周回を重ねることができませんでしたが、これからマシンのアップデートを繰り返し、CF16をより速いマシンに仕上げたいと思います。

SPONSOR

私達、千葉大学フォーミュラプロジェクトの活動は以下の企業、団体様よりご協力いただいております。このような貴重な勉強の場を与えて下さいましたことに、心よりお礼申し上げます。

※敬称略（五十音順）

企業・団体スポンサー様

出光興産株式会社	京葉ベンド株式会社
エイヴィエルジャパン株式会社	サイバネットシステム株式会社
エヌ・エム・ビー販売株式会社	ジョブテシオ株式会社
NTN 株式会社	住友電装株式会社
学校法人 日栄学園 日本自動車大学校	ソリッドワークス・ジャパン株式会社
株式会社エフ・シー・シー	千葉大学工学部
株式会社エルパ	千葉大学 工学同窓会
株式会社キノクニエンタープライズ	千葉大学材料加工学研究室
株式会社日下製作所	千葉大学フォーミュラプロジェクト OB
株式会社佐々木工業	日信工業株式会社
株式会社デンソー	日本精工株式会社（NSK）
株式会社トーキン	日本発条株式会社
株式会社東日製作所	ビルドダメージ
株式会社トヨタレンタリース千葉	丸紅情報システムズ株式会社
株式会社ノウム	ヤマハ発動機株式会社
株式会社ハイレックスコーポレーション	有限会社アールエーシー
株式会社深井製作所	有限会社葵不動産
株式会社ミスミ	有限会社 Altrack
株式会社メタルワークス	有限会社トップラインプロダクト
株式会社ユタカ技研	有限会社プラスミュー
株式会社ワークスベル	有限会社茂原ツインサーキット
カルソニックカンセイ株式会社	レイクラフトレーシングサービス
協和工業株式会社	

個人スポンサー様

芦田 尚道
荒井 俊行
石山 竜太
伊藤 裕
鐘ヶ江 優
紺野 浩之
佐藤 陽
鈴木 明晃
鈴木 亮
高橋 昂史
田辺 真之
千葉 和輝
千葉 健太郎
戸井田 一宣
成松 宏一郎
平林 宏介
平柳 光
松崎 哲
山岸 一成

Special Thanks

千葉大学工学部実習工場
千葉大学自動車部
ホンダマイスタークラブ
レーシングガレージ ENOMOTO

今後も定期的に私たちの活動の様子をお伝えして参ります。

CUFP2016 活動報告書 Vol.6
千葉大学フォーミュラプロジェクト

2016 年度プロジェクトリーダー 小川和也

Mail: adya2154@chiba-u.jp

URL : <http://www.chiba-formula.com/>